

廃校Re活用プロジェクト (京都府福知山市)

取組概要

平成24年から令和2年までに16校の小学校が廃校となった福知山市では、これまで8校の民間活用、2校の行政利用を開始し、16校中10校(62.5%)の廃校活用実績を挙げています。

サウンディングやマッチングの手間を圧縮しながら、スピード感を持った廃校のRe活用に繋げた現在進行形の取組みについて御紹介します。

取組の効果

廃校の特徴は、避難所としての位置付けがあり光熱水費等の経費が発生し続けます。10校合計の貸付料で約10,000千円/年の歳入を確保しつつ、地元雇用や賑わい創出という新たな地域の拠点を創出しました。

創意・工夫した点

- ・地元金融機関と連携協定締結
- ・廃校マッチングバスツアー実施
- ・本市独自の民間提案制度整備
- ・地域を巻き込んでの事業者選定

他団体へのアドバイス

廃校の活用には、意欲のある事業者を見つけたら即調整を進めていくらのスピード感が大切です。地域も巻き込み、活用まで伴走します。

人口 75,343人 (R6.1.1現在)

担当 財務部 資産活用課



関西初!

参加者：39名 (令和2年10月23日)
40名 (令和2年11月20日)

廃校マッチングバスツアー (令和2年)



旧天津小をスポーツ施設に (令和4年)